

地域医療構想推進委員会の取組について

1. 各構想区域の開催状況

- 各構想区域の地域医療構想推進委員会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、書面開催等により実施した。
 - 委員会の開催方法は、議題の内容や、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、事務局（保健所）が、委員長（地区医師会長）と相談して、地域ごとに判断している。
 - 各構想区域の委員会の中で、特に重要な議題がある場合には、感染防止対策を万全に行った上で、対面開催等を実施している。
- <参考>対面開催等を行った構想区域
名古屋・尾張中部（2/3：Web会議）、尾張西部（11/4・1/21）、尾張東部（11/19）

2. 主な議題の協議状況

(1) 再検証要請医療機関の協議状況

ア 経緯

- 令和2年1月17日付けで、厚生労働省医政局長より、急性期の病床を有する公立・公的医療機関等のうちから再編・統合について再検証の要請対象となる医療機関を選定し、再検証の要請通知を发出。
- 令和2年3月4日、令和2年8月31日及び令和3年7月1日付け厚生労働省医政局長通知により、再検証等の期限等については、厚生労働省において改めて整理するとされた。

イ 再検証要請対象医療機関一覧と協議状況

本県の再検証要請対象医療機関及び協議状況は下表のとおり。

<参考 県内12病院における再検証の検討状況> (令和4年2月15日現在)

構想区域	医療機関名	協議状況	合意内容等
1 名古屋・尾張中部	中日病院	合意済	・急性期病床42床を、回復期病床に転換
2 名古屋・尾張中部	国立病院機構 東名古屋病院	合意済	・2018年に408床から330床に削減したことをもって、既に対応済であることを地域の関係者で確認 ・神経難病、重症心身障害児者、結核等の患者の受け皿としての病院の特性を確認
3 名古屋・尾張中部	ブラザー記念病院	合意済	・2018年に急性期30床を廃止済であることを地域の関係者で確認
4 海部	津島市民病院	合意済	・病院全体で440床を352床にダウンサイジング
5 海部	あま市民病院	合意済	・休棟45床を、回復期病床として再開
6 尾張西部	一宮市立木曾川市民病院	合意済	・急性期病床90床を82床にダウンサイジングし回復期病床に転換
7 尾張西部	稲沢市民病院	継続協議	・休棟46床の活用方法について、検討予定
8 尾張西部	稲沢厚生病院	継続協議	・病院全体（精神病床除く）で249床を174床にダウンサイジングする方向性について、協議予定
9 尾張北部	医療療育総合センター 中央病院	合意済	・2018年に110床から89床に削減したことをもって、既に対応済であることを地域の関係者で確認 ・障害者医療に特化している特性を確認
10 知多半島	常滑市民病院	合意済	・2025年4月に半田市立半田病院と経営統合を行い非公務員型の地方独立行政法人として運営予定 ・急性期病床44床を、回復期病床に転換

11	西三河北部	みよし市民病院	合意済	・急性期病床68床を、急性期病床34床及び回復期病床34床に転換
12	西三河南部西	碧南市民病院	合意済	・急性期病床274床を210床にダウンサイジングする計画に併せて、削減する64床のうち22床を安城更生病院へ病床移動

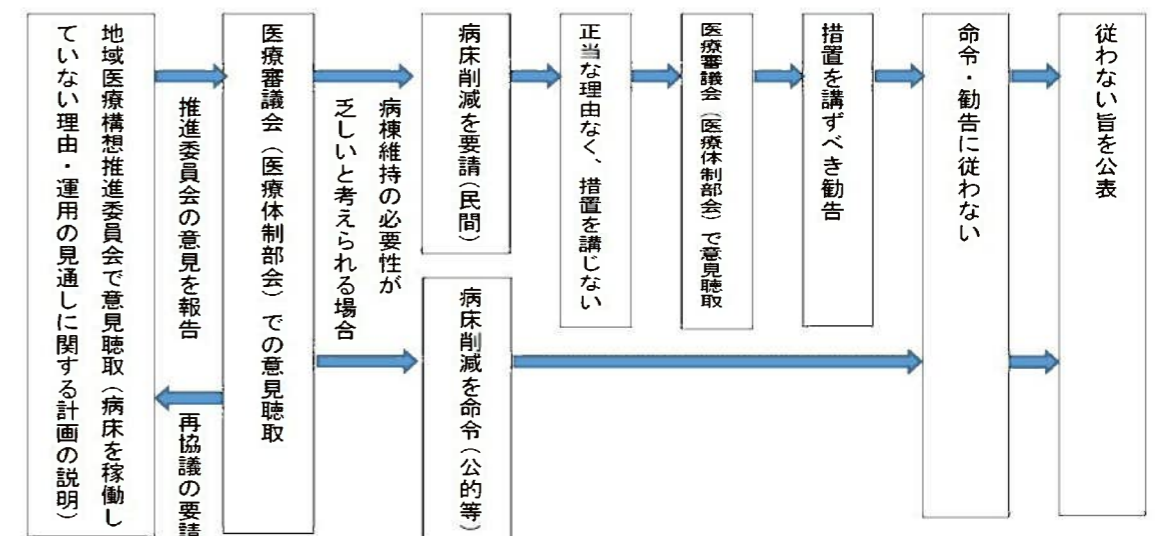
(2) 非稼働病床を有する医療機関への対応について

ア 経緯

令和3年2月4日開催の医療審議会医療体制部会において承認された方針を受け、令和3年3月8日付けで、以下の取組を実施する旨の愛知県保健医療局長通知を发出。

<参考>非稼働病床を有する医療機関への方針

- 病床過剰地域に所在し、以下のいずれかの条件に該当する病院に対して、取組を進める。
 - ① 開設許可後（新規開設、変更許可含む）、1年経過後も稼働していない病床を有する病院
 - ② 5年以上、稼働していない病床を有する病院
(上記の条件に該当しない医療機関については、各地域において、方針を決定する。)
- 新型コロナの影響で、一時的に稼働率が減少したことによる非稼働は、留意の上、取組を進める。



イ 各構想区域の協議状況

構想区域	医療機関名	非稼働病床		地域医療構想推進委員会の意見		
		病床名	病床数	開催日	ヒアリング結果 (病床維持の必要性)	委員からの意見の概要
尾張西部	総合大雄会病院	中5階病床	8	R3.11.4	必要性がある	同一法人内の他病院から診療科を移転する計画であり、移転後の増患に対応するためには、現在休止している8床を稼働させる必要がある。
	稲沢市民病院	3階北病床	32	R3.11.4	必要性がある	5階南病床（46床：現在は感染症用病床として運用）で、従前、急性期医療を行っていた医療機能を3階北病床（32床）に移転する計画のため必要がある。
	稲沢市民病院	4階北病床	46	R3.11.4	継続協議	4階北病床（46床）と4階南病床（46床）を一体の病床として再編し、高齢者の骨折治療に特化したフロアとして利用する予定であり、再編後に不要となる病床は、今年度内を目標に削減する計画について協議中。
尾張東部	愛知医科大学病院	7D病床	26	R3.11.19	必要性がある	医師・看護師等の確保状態を勘案して再稼働することとしており、また新型コロナにおける愛知県からの要請に応えるべく増床分の病床にあてているため必要がある。
	愛知医科大学病院	8D病床	27	R3.11.19	必要性がある	